

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金成果報告書

代表者氏名	サトウタツヤ	所属	立命館大学文学部
研究集会等名称	公益社団法人日本心理学会 文化心理学研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <p>会員 12 名 (うち認定心理士 0 名) 非会員 8 名 (うち認定心理士 0 名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 (実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください)</p> <p>今年度は下記のように研究集会などを実施し、文化心理学についての議論と考察をおこなった。デンマーク・オールボー大学から Wagoner 先生、Glaveanu 先生をお招きした講演集会では、心理学史における心と文化との関連性、そして、文化心理学的立場からみた創造性研究に対する見解についての講演をいただき、文化および文化心理学についての議論を深めると同時に、国際的な動向についても触れることができた。また、昨年から検討が試みられていた、「分岐」「選択肢」の両概念については、研究会員の多くが参画していた書籍「ワードマップ TEA (複線径路等至性アプローチ)」の執筆と編集、刊行によって、一定の成果を得ることができた。</p> <p>今後は、引き続き国際的交流をおこなうなかで、文化心理学についての世界的動向を知るとともに、文化心理学的知見の発信の準備を進める。</p> <p>講演研究集会：イギリス心理学史と文化心理学からみた創造性研究</p> <p>日時：2014年6月25日(水) 9:30 - 12:00 会場：立命館大学衣笠キャンパス 講演：Brady Wagoner 教授 (Aalborg University, Denmark)、 Vlad Glaveanu 准教授 (Aalborg University, Denmark)</p>		

2015 年 3 月 28 日

日本心理学会研究会

2014 年度会計報告書

研究会名称 公益社団法人日本心理学会 文化心理学研究会

研究会番号 _____

助成金額 ¥30,000

年月日	項目	金額
	返金（日本心理学会）	¥30,000

支出合計 ¥30,000